

適用規格					
定格	使用温度範囲	-55℃～+125℃(95%RH以下)	保存温度範囲	-55℃～+125℃(95%RH以下)	
	電力	-- W	特性インピーダンス	50Ω(0～40GHz)	
	特殊性	----	使用ケーブル	-----	
性能					
	項目	試験方法	規格	QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	100 mA(DC or 1000 Hz) 以下で測定する。	中心コンタクト 8 mΩ 以下	○	○
			外部コンタクト 4 mΩ 以下	○	○
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	1000 MΩ 以上	○	○
	耐電圧	AC 500 Vの電圧を 1 分間印加する。 (漏洩電流 2 mA以下)	せん絡, 絶縁破壊がないこと。	○	○
	電圧定在波比	周波数 0 ～ 40 GHzにて測定する。	1.1 以下 (0～18GHz) VSWR 1.15 以下 (18～26.5GHz) 1.2 以下 (26.5～40GHz)	○	○
	挿入損失	周波数 0 ～ 40 GHzにて測定する。	0.03+0.03√f dB以下 f:GHz 	○	○
機械的性能	単体挿抜力	φ 0.91 ^{+0.005} ₀ の鋼製ピンで測定する。	挿入力 --- N以下	—	—
			引抜力 0.5 ～ 4.9 N	○	○
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	挿入力 --- N以下	—	—
			引抜力 --- N以上	—	—
	繰り返し動作	1000 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗: 中心コンタクト 12 mΩ 以下 外部コンタクト 8 mΩ 以下 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ～ 2000 Hz, 片振幅 0.75 mm, 加速度 196 m/s ² で 3 軸方向各 10 サイクル 試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 1960 m/s ² , 持続時間 6 ms, 正弦半波 3 軸方向各 3 回試験する。		○	—
環境的性能	ケーブルクランプ部の引張り強度	mm/分でケーブル軸をケーブル抜け, 断線が発生するまで引張り、最大荷重を確認する。	最大荷重 N以上	—	—
	温湿度サイクルの耐湿性	温度 -10 ～ +65℃, 湿度 90 ～ 98 %中に 10 サイクル(240 時間)放置する。	① 縁抵抗: 100 MΩ 以上(高湿時) ② 縁抵抗: 1000 MΩ 以上(乾燥時) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -65 → - → +125 → -℃ 時間 30 → 3 → 30 → 3 分を 5 サイクル試験する。	破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。	1.1 以下 (0～18GHz) VSWR 1.15 以下 (18～26.5GHz) 1.2 以下 (26.5～40GHz)	○	—
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日
	1	DIS-D-00003383	TK. SAWAGUCHI	KY. SHIMIZU	18.08.03
備考			承認	KY. SHIMIZU	17.03.15
			検図	KY. SHIMIZU	17.03.15
			担当	TY. OZAKI	17.03.15
			製図	TY. OZAKI	17.03.15
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を適用している。					
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC-374782-00-00	
	製品規格表		製品名	HK-A-JJ	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL338-0098-0-00	 1/1